

## 第 147 回 『わかるように伝えていますか』

坂井 聡

2025 年 6 月 8 日から 13 日まで、ブルネイ王国に行ってきました。この訪問は、ブルネイ・ダルサラーム大学からの依頼に基づき、特別支援教育について指導するためのものです。

実は、現在私はブルネイ・ダルサラーム大学の客員教授を務めています。

さて、ブルネイ王国についてご存知でしょうか。ブルネイは東南アジアに位置する小さな国で、面積は約 5,765 平方キロメートル、人口は約 45 万人です。

国の大部分は熱帯雨林に覆われており、自然環境が非常に豊かです。

また、豊かな天然資源と、高い教育水準を誇っています。

近年では特別支援教育の重要性が認識され、新たに特別支援学校が設立されました。

今回の講義では、自閉症のある人への必要な支援と指導のあり方、さらに ICT を活用したコミュニケーション指導の実践について求められました。

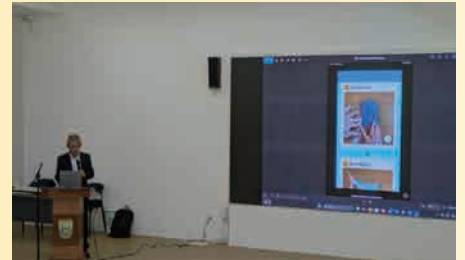
香川大学教育学部附属特別支援学校での実践を紹介しながら、講義を行いました。

ダルサラーム大学での講義には、大学院生や現場の教員、文部科学省に相当する部署の担当職員が参加しました。参加者は非常に熱心で、活発な意見交換ができました。講義は英語で行いましたが、私の英語力では不十分だったため、香川大学の植村先生に通訳をお願いしました。

2 日間の講義の後、ブルネイ初の特別支援学校を訪問し、職員に直接指導を行いました。学校見学の際には、構造化のアイデアなどをその場で提案しました。ブルネイの教育には、イギリスの影響が色濃く、行動分析の考え方を学んでいる方が多い印象を受けました。

今回の活動を通じて、ブルネイにおける特別支援教育の普及と質の向上に寄与できたことは非常に意義深いと感じています。また、香川大学教育学部附属特別支援学校の実践をモデルとして紹介できた事は、私がこれまで行ってきた取り組みが正しかったことを証明するものだと感じました。

今後も現地の教育者との連携を深め、さらなる支援を行っていく必要があると思っています。



～坂井 聡先生のご紹介～

《プロフィール》

香川大学教育学部卒業。金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など、養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部教授。1997 年には自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。自閉症スペクトラム支援士エキスパート、特別支援教育士スーパーバイザー、言語聴覚士。